

4 陳 情 第 2 4 号	区内駐輪場の改善を求める陳情
付 託 委 員 会	環境建設委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	令和 4 年 6 月 3 日 受 理、 令 和 4 年 6 月 1 0 日 付 託
陳 情 者	新宿区余丁町————— ————— 世 話 人 —————

(要 旨)

- 1 駐輪場台数については、早急に2021年3月末時点に戻し、更に増やしてください。
- 2 通勤通学に欠かせない定期利用を各駅周辺ごとにつくってください。
- 3 ラックの幅については、チャイルドシートや幅の広いハンドルでも出入りし易いように間隔を広げ、ラックの高さも極力低くしてください。
- 4 区内駐輪場について、新宿区として区民から意見を聞く窓口を設けてください。

(理 由)

駅周辺に駐輪場が整備されていない20～30年前、通勤通学などで利用する自転車が歩道上や路地にあふれ、まちの大問題になっていました。地価の高い新宿区の駅周辺で駐輪場をつくることは多くの困難がありました。しかし、自転車利用者や駅周辺の住民・商店の方々が「駐輪場の整備を」と繰り返し声を上げていることを区担当者も受け止め、知恵を出し歩道上などでの駐輪場整備が実現してきました。決められた所に自転車が置けることで、放置自転車も大きく減りました。さらに、時間利用の駐輪場も増え便利になっていました。

ところが、新宿区の方針で区営駐輪場は2022年3月末で全て廃止され、民間で整備・運営されていますが、毎日の通勤通学に欠かせない定期利用が1つもない駐輪場となり、駐輪できるかどうか毎日分からない不安と、置けても1日200円前後ひと月に4,000円～6,000円の利用料負担は厳しいとの声広がっています。

電動付き自転車が普及し坂道の多い新宿でも利用者は増え、子育て中の親たちや足腰の弱い高齢者の買い物などに欠かせない、かけがえのない乗り物です。働きながら子育て中の保護者にとって朝夕の時間は1分1秒を争います。その保護者が朝、駅前駐輪場に行ったら「駐輪場がいっぱいで置けない」「ラック幅が狭くて入れられない」となれば遅刻です。子育てしやすいまちにするためにも定期利用は欠かせません。民間事業者を優遇する前に、区民の日々の生活を守ってください。そして、環境に優しい自転車を区民が気軽に乗れるようお願いします。